

「私たちの活動」

福島県警察本部特別警ら隊（男性）

平成24年2月1日に私は、福島県に出向した。

特別警ら隊の勤務は三交代制で、基本的には、無線自動車による警戒警ら活動である。そのほかに、警戒区域等での搜索活動を行うこともある。私が所属している県南分駐隊は、主に郡山市内を活動の拠点としており、郡山警察署管内での事件・事故の対応や、交通取締りを行っている。そして、1当務ごとに交代で、計画的避難区域内の警戒警ら活動にも従事している。

2月20日、私は初めて、福島第一原子力発電所直近3キロ圏内における行方不明者の搜索に従事した。

今回の搜索は、いまだ遺体が発見されていない少女の父親からの依頼によって実施されたものである。原発直近を搜索することができるのは警察だけであり、遺族が行方不明の家族の発見を願い頼ることができるのも警察だけなのである。残念ながら、今回少女の遺体を発見することはできなかったが、名前が書かれた靴を発見することができた。私は、被災地における警察への期待がいかに大きいものであるかということを改めて実感した。

福島県は、原発事故による放射能汚染という甚大な被害を受け、復興するには非常に長い時間を要すると思う。しかし、私たちの活動によって、被災者、県民が安心して復興に取り組める環境が作られ、福島県は一步一步着実に復興に向かって進んでいくと私は信じている。そのためにも、私たち出向者により組織された、福島県警察「ウルトラ警察隊」が積極的にパトロール活動、検挙取締り活動を行い、また、いまだ発見されていない行方不明者の搜索活動を行って、県民の期待に応えていかなければならない。